

1. 科目名 (単位 数)	中国の文化と言語 I (2 単位)	3. 科目番号	GECM1313						
2. 授業担当教員	秋谷 幸治		GECM1323						
4. 授業形態	講義、ディスカッション、グループ学習等	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	<p>初心者を対象に、中国語の基礎訓練を行う。やさしく、正確に、しかも気軽に話せるように、まず簡単な会話の訓練から始める。同時に、古来より日本にはかりしれない影響を与え続けてきた、「隣の国」中国の文化と歴史についても学習していく。国連公用語に指定されている、国際語としての中国語の言語的特徴(リズムカルな美しい音調等)を理解し、簡単な会話であれば、気軽に正確に使えるようになることを目指し、学習を進めていく。また、今、経済成長を遂げ、国際的にも発言力を増してきた中国について、言語と文化、そして人びとの暮らしを通して理解し、これからの交流の機会に役立てていく授業である。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>中国語の発音と文法の概略を知り、自ら学習を進展させることができるようになるための基礎を身につける。</li> <li>ピンイン(ローマ字による中国語発音表記システム)の読み方と綴り方、常用の単語、日常の挨拶語、単文の基本文型などを学ぶことで、中国語の各音節が声調を伴って正確に発音でき、基本的な表現構造を理解できるようになる。</li> <li>授業では簡単な受け答えや聞き取り・書き取りなどの練習を通して、簡単な会話が聞き取れ、話せるようになる。</li> </ol>								
9. アサシメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p><b>【宿題】</b> 授業前にテキストの例文を7回以上音読練習しておいてください。</p> <p><b>【レポート課題】</b> 中国の文化(民族・言語・食文化等)について各自レポートし、15回目に提出してください。</p>								
10. 教科書・参考 書・教材	<p><b>【教科書】</b> 塚本慶一監修 劉穎著『《最新版》1年生のコミュニケーション中国語』白水社、2014。 ※中国の文化・風俗習慣については、プリントを配付して学習します。</p>								
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準(学習目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>中国語の発音と文法の概略を知り、自ら学習を進展させることができるようになるための基礎を身につけたか。</li> <li>ピンイン(ローマ字による中国語発音表記システム)の読み方と綴り方、常用の単語、日常の挨拶語、単文の基本文型などを学ぶことで、中国語の各音節が声調を伴って正確に発音でき、基本的な表現構造を理解できたか。</li> <li>授業では簡単な受け答えや聞き取り・書き取りなどの練習を通して、簡単な会話が聞き取れ、話せたか。</li> </ol> <p>○評定方法 事前学習・事後学習の状況も含め、授業への参加度、小テスト、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的な参加</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> <tr> <td>3. 課題レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的な参加	総合点の 30%	2. 小テスト	総合点の 40%	3. 課題レポート	総合点の 30%
1. 授業への積極的な参加	総合点の 30%								
2. 小テスト	総合点の 40%								
3. 課題レポート	総合点の 30%								
12. 受講生への メッセージ	<p>語学を修得するには、とにかく声を出すことが大切です。授業では間違いを恐れず、大きな声で発音するように心がけよう。理解できなかったことは、授業後に遠慮なく質問して下さい。</p>								
13. オフィスアワー	<p>授業終了後、教員控え室に来て下さい。</p>								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	中国語について知ろう。 中国で使われる漢字(簡体字と繁体字)、発音表記の仕方(ピンイン)などについて説明します。	事前学習	シラバスをよく読んでおく。						
		事後学習	授業内で配布したプリント「中国語とは？」を繰り返し読み直しておく。						
第2回	発音練習① 単母音の練習 【北京の名所紹介】故宮博物館	事前学習	テキスト p. 6 をしっかり読んでおく。						
		事後学習	単母音を7回以上音読練習する。						
第3回	発音練習② 子音・声調の練習	事前学習	テキスト p. 7 をしっかり読んでおく。						
		事後学習	練習4の単語を7回以上音読練習する。						
第4回	発音練習③ 複母音・鼻母音・軽声の練習 【北京の名所紹介】天安門広場	事前学習	テキスト pp. 7~8 をしっかり読んでおく。						
		事後学習	練習6、10の単語を7回以上音読練習する。						
第5回	発音練習④ まとめと復習 数の数え方の練習	事前学習	テキスト p. 9 をしっかり読んでおく。						
		事後学習	練習12の単語を7回以上音読する。						
第6回	挨拶表現 【北京の名所紹介】頤和園	事前学習	テキスト pp. 10~11 をしっかり読んでおく。						
		事後学習	新出単語を7回以上音読練習する。						
第7回	小テスト 自己紹介の練習	事前学習	テキスト pp. 6~11 を読み直し、小テストに向けて発音の総復習しておく。						
		事後学習	テキスト p. 12 の会話を7回以上音読練習する。						
第8回	これは何ですか 指示代名詞などの使い方について練習します。 【北京の名所紹介】瑠璃廠	事前学習	テキスト pp. 16~17 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。						
		事後学習	テキスト p. 16 の会話を7回以上音読練習する。						
第9回	これはいかがですか 指示代名詞などの使い方について練習します。	事前学習	テキスト pp. 20~21 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。						
		事後学習	テキスト p. 20 の会話を7回以上音読練習する。						

第10回	買い物 人民元の数え方などについて練習します。 【北京の名所紹介】万里の長城	事前学習	テキスト pp. 24～25 をしっかり読み、新たな文法事項を捉えておく。
		事後学習	テキスト p. 24 の会話文を7回以上音読練習する。
第11回	第8～10回の総復習 小テスト	事前学習	テキスト pp. 12～25 を読み直し、小テストに向けて日常会話の総復習をしておく。
		事後学習	小テストで答えられなかった部分を復習しておく。
第12回	中国映画を見よう	事前学習	付属CDを使ってリスニングの練習をしておく。
		事後学習	聞き取れた言葉をまとめてみよう。
第13回	中国の文化を知ろう①（グループ学習） 【中国ってどんな国？】	事前学習	事前に配布した「中国の文化を知ろう！」のNo.1のプリントをよく読んでおくこと。
		事後学習	新聞で中国に関する記事を探してみよう。
第14回	中国の文化を知ろう②（グループ学習） 【中国の言語・政治・食文化】	事前学習	事前に配布した「中国の文化を知ろう！」のNo.2のプリントをよく読んでおくこと。
		事後学習	身近にある中華料理にどのようなものがあるのか探してみよう。
第15回	中国の文化を知ろう③（グループ学習） 【中国の年中行事】課題提出	事前学習	事前に配布した「中国の文化を知ろう！」のNo.3のプリントをよく読んでおくこと。
		事後学習	旧暦の中秋や元日が、新暦の何月何日に当たるのかを調べてみよう。